

「みなとオアシス牛窓」が新たに登録されました

○平成30年3月24日（土）に「みなとオアシス牛窓」（岡山県瀬戸内市）が新規に登録され、中国地方では20箇所目（全国で107箇所目）のみなとオアシス※1として活動を開始することとなります。

○この登録にあたり登録証の交付式を同日、岡山県瀬戸内市の「牛窓町公民館」で開催された「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録記念講演会」に併せて行い、「みなとオアシス牛窓」の設置者である瀬戸内市長へ登録証を交付しました。

○「みなとオアシス牛窓」は、牛窓港において、「瀬戸内市観光センター 瀬戸内きらり館」を拠点とした情報発信や伝統ある「朝鮮通信使※2」に関する施設やイベントを通じた地域住民、観光客との交流の場の提供など、さらなる地域振興に向けた取組みを行います。



みなとオアシス牛窓
Minato-Oasis Ushimado



登録証交付式関係者による記念撮影

※1「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組みが継続的に行われる施設として国土交通省が申請に基づき登録する制度です。

■「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録記念講演会」の様子



アトラクション（韓国伝統芸能）



記念講演

※2 朝鮮通信使とは、

朝鮮王朝が日本に派遣した外交使節団で、両国間の外交課題の解消や将軍の代替わりを祝賀することを主な目的とし、江戸時代に12回来日しました。

瀬戸内海の寄港地として指定された牛窓港には、通信使が計11回寄港し、そのうち9回は上陸して宿泊しました。

【概要】みなとオアシス牛窓 うしまど



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

★代表施設「瀬戸内市観光センター 瀬戸内きらり館」では、周辺の観光情報や映画・ドラマ・CMなどのロケ地情報を紹介している。
 ★「牛窓オリーブ園」には約2,000本のオリーブの木が植えられており、高台からの眺望は絶景。
 ★「牛窓海遊文化館」や毎年11月に開催される「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」では、伝統ある「朝鮮通信使」の歴史を体感できる。
 （『朝鮮通信使に関する記録』はユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）に登録された。）



【基本情報】

設置者	岡山県 瀬戸内市
運営者	一般社団法人 瀬戸内市観光協会
所在港湾	牛窓港（地方港湾）
港湾管理者	岡山県

【代表施設】



瀬戸内市観光センター 瀬戸内きらり館

【主なイベント】



瀬戸内牛窓国際交流フェスタ



牛窓秋祭り



牛窓花火大会